

令和4年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

（最終変更 令和5年3月30日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の実施・推進体制	1
--------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画	2
--------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	3
2 名古屋城二之丸庭園の整備	4
3 名古屋城石垣の整備	5
4 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の 保存・公開と市政資料館としての活用	6
5 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	7
6 文化のみち榎木館の管理運営	8
7 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上	9
8 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)	10
9 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	11
10 歴史的町並み保存事業(四間道地区)	12
11 徳川園の管理運営	13
12 蓬左文庫の保存と公開活用	14
13 堀川の総合整備	15
14 尾張名所図会看板の整備	16
15 中川運河の再生	17
16 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	18
17 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業	19
18 歴史的建造物の登録・認定	20
19 なごや歴まちびとの派遣	21
20 文化のみちの推進	22
21 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	23
22 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援	24
23 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	25
24 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	26
25 郷土ゆかりの文学資料室	27
26 水上交通ネットワークの検討	28
27 「ものづくり文化の道」推進事業	29
28 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業	30
29 熱田区役所における歴史資料展示	31
30 名古屋まつり	32
31 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業	33
32 伝統産業若手育成事業助成	34

33 伝統産業新商品開発事業助成		35
34 伝統産業製品PR事業助成		36
35 名古屋市民芸術祭		37
36 なごや子どものための巡回劇場		38
37 名古屋市芸術文化団体活動助成		39

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の 策定・見直しなど		40
2 文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の 周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		41
3 防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) 文化財防火デー等の防災訓練の取組		42
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援 4 (保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、 民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		43
5 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)		44

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 45

⑥その他(様式1-6) 47

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 48

評価軸①
組織体制

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
計画の実施・推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	観光文化交流局歴史まちづくり推進室及び教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでに以下の内容で「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。 平成27年5月…平成25・26年度分進捗評価 平成28年3月…平成27年度分進捗評価 平成29年5月…平成28年度分進捗評価、平成26～28年度総括評価 平成30年5月…平成29年度分進捗評価 令和元年5月…平成30年度分進捗評価 令和2年5月…令和元年度分進捗評価(書面会議) 令和3年5月…令和2年度分進捗評価、平成26～令和2年度中間評価(書面会議) 令和4年5月…令和3年度分進捗評価、第2期計画の策定について 令和4年11月…第2期計画の策定について			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催としてきたが令和4年度については対面式の懇談会を実施した。次期計画においても多様な意見を反映できるようにしていく。		
状況を示す写真や資料等			
【法定協議会】 名古屋市歴史的風致維持 向上計画懇談会 ●学識経験者や行政で構成 提案 意見 国 愛知県 名古屋市文化財調査委員会 名古屋市広告・景観審議会 市民・市民団体 事業の実施 【庁内組織】 名古屋市歴史的風致維持 向上計画連絡会議 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室 教育委員会文化財保護室 ・総務局 ・観光文化交流局 ・経済局 ・住宅都市局 ・緑政土木局 国 愛知県 名古屋市文化財調査委員会 名古屋市広告・景観審議会 市民・市民団体 事業の実施 計画の推進体制			

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
景観計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。

・都市景観形成地区における届出件数 [令和3年度] 132件 [令和4年度] 165件
 ・都市景観重要建築物等への助成 [令和3年度] 0件 [令和4年度] 0件
 ・屋外広告物許可 [令和3年度] 11,478件 [令和4年度] 12,160件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・地域の特色に合わせた景観形成基準等に基づく助言・指導の実施。 ・四間道都市景観形成地区指定をきっかけとして那古野一丁目地区の景観まちづくりを推進しているが、景観に関するルールづくり等について具体的な検討が必要。

状況を示す写真や資料等

〇名古屋市景観計画

「歴史の深みを感じさせるまち」を始めとする4つの目指すべき都市のイメージの実現を図ることを全体方針に掲げ、良好な景観の形成を図っている。

1. 都市景観形成地区(8地区)

届出等の制度により景観形成基準等への適合を確認し、助言・指導等を実施。(建築物・工作物/広告物)

【令和4年度の届出等の状況(件数)】

地区名	建築物・工作物	広告物	地区名	建築物・工作物	広告物
久屋大通	11	27	築地	5	4
広小路・大津通	18	29	今池	8	8
名古屋駅	4	22	白壁・主税・槇木	7	0
四谷・山手通	8	12	四間道	2	0

合計165件

2. 大規模建築物等

届出等の制度により景観形成基準等への適合を確認し、助言・指導等を実施。

【令和4年度の届出等の状況】建築物・工作物 187件、広告物 37件

3. 眺望景観の保全

平成31年4月より名古屋城眺望景観保全エリアと景観形成基準を新たに設け、大規模建築物等の届出等の制度により、助言・指導等を実施。

【令和4年度の届出等の状況】建築物 9件(内通知1件)

4. 屋外広告物

都市景観形成地区内の屋外広告物及び大規模な屋外広告物について、色彩などの制限を定め、屋外広告物条例による、表示や設置に関する規制と合わせて助言・指導を実施。

【令和4年度の届出等の状況】広告物 139件

〇那古野一丁目地区の景観まちづくり

1. 景観まちづくりの推進

①事業の概要

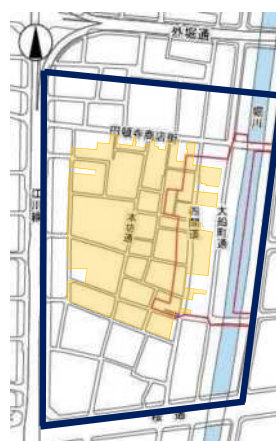
・平成31年4月、四間道都市景観形成地区制度の運用を開始した。そして令和3年6月、「那古野一丁目地区景観協定」が地元において締結され、運用が始まった。また、令和4年度からは更なるまちづくりルールの検討を開始した。

②経緯

・地元勉強会・準備会開催(平成30年～令和2年6月計13回)
 ・推進委員会の設立・開催(令和2年7月～計14回)
 ・推進委員会に都市景観市民団体助成金交付(令和3年～計2回)

③今後の進め方

・令和3年に実施したまちづくりルールに関するアンケート結果や地元の意見を踏まえ、これからの方向性について検討を実施



☒街なみ環境整備事業
対象区域
☒四間道景観形成地区
☒景観協定区域

2. 街なみ環境整備事業の推進検討

①事業の概要

・四間道地域全体の魅力向上を図るため、国の補助制度である街なみ環境整備事業の制度を活用し、電線地中化や建物の修景などの実現に向け検討を実施。

②今後の進め方

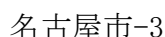
・令和6年度の事業化に向けた検討及び庁内、権利者、関係団体等との調整・地域調整等



推進委員会の様子

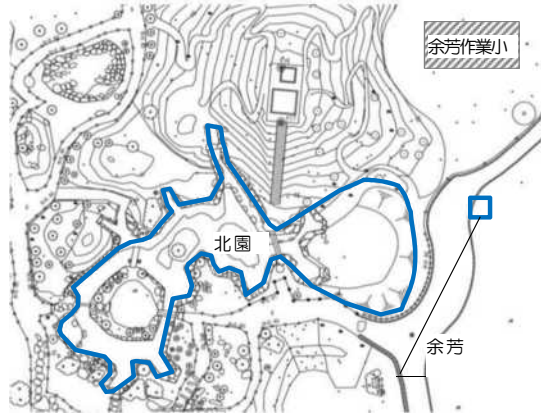
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等



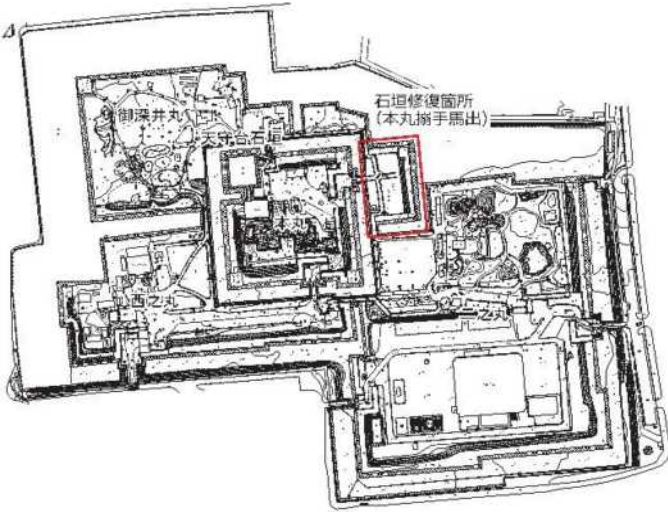
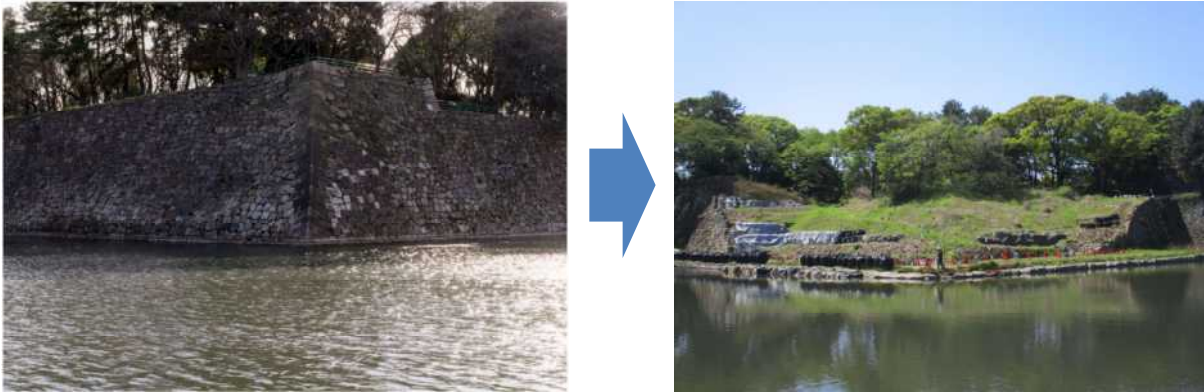
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
名古屋城二之丸庭園の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25・26年度に石組の崩壊を招く樹木の伐採、平成26年度に権現山並びに笹巻山の修理を行った。 平成27年度に権現山山頂の社跡の遺構表示等、平成28年度に栄螺山の盛土修復等を行った。 平成29年度は北園池の石組等の修復を行った。また、平成30年2月13日名勝の追加指定を受けた。 平成30年度は余芳移築再建予定地周辺の一次造成及び北園池の石組の修理を行った。 令和元年度～令和3年度に北園池の石組修復、園路の飛石の修理等を行い、令和4年3月名勝名古屋城二之丸庭園整備計画を策定した。 令和4年度は、余芳移築再建に向けた部材修理、北園池護岸のひび割れ修理等を行った。 平成25年度以降、二之丸庭園の文化的価値と魅力の周知を目的とした発掘調査成果の現地説明等を継続し、歴史的風致の維持向上に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名勝名古屋城二之丸庭園の往時の景観を取り戻すため、庭園の修復・保存整備を進める。		
状況を示す写真や資料等			
			
二之丸庭園平面図(部分)		余芳部材修理	
			
護岸ひび割れ修理		発掘調査成果の現地説明 ※令和5年2月4日 参加者290名	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
名古屋城石垣の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和50年度～		
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業、重要文化財等防災施設整備事業		
計画に記載している内容	特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大きな孕みがみられた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。平成25年度までは、石垣の取り外しを実施した。平成26,27年度は、根石の調査を実施した。平成28、29年度は、石垣前面の地盤補強工事として杵工を実施した。平成25～28年度に、修復現場見学会を開催した。平成30年度は、平成26年度から行った調査や地盤補強のために中断していた石垣の取り外しを再開し最下段までの取外しを実施した。令和元年度は石材補修工、仮設通路工、石材調査等を実施し、石垣の積み直しに向けた準備が進んだ。令和2年度に、逆石調査、石材劣化調査、石材補修工等を実施し、積み直し基本方針を、令和3年度は積み直し基本計画を策定した。令和4年度より積み直し基本計画に基づき積み直しを開始した。石垣を適切に積み直すことで、名古屋城の歴史的魅力の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与していくことができる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	特別史跡名古屋城跡の本質的価値を構成する石垣を対象とする整備事業であり、慎重に進めていく必要があるため、事業の遅れはあるものの、早期の積み直し完了に向けて、関係機関と調整しながら積み直し工事を進める。		
状況を示す写真や資料等			
			
石垣整備箇所(本丸搦手馬出)			
			
修復工事前の石垣(平成14年度)		修復工事中の石垣(令和4年度末)	

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成元年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公文書の収集、資料の常設展示のほか、企画展を開催した。 文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。 ●令和4年度 入館者数 89,315人 企画事業数 18件 ●令和3年度 入館者数 63,790人 企画事業数 10件 ●令和2年度 入館者数 45,878人 企画事業数 10件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和4年度も新型コロナウイルス感染感染拡大の中で、入館時の感染防止対策を実施しながら企画展やイベントを実施した。令和4年度は当館の創建100年にあたる年であったため、例年に比べ企画事業を多数実施した。今後も継続的に企画展やイベントを実施していく予定であり、令和5年度は定例館内ガイドツアーなど新たなイベントも実施予定。引き続き、費用対効果が高いPR手法を模索し、より効果的かつ効果的な広報媒体の調査及び活用を行う。		
状況を示す写真や資料等			
●主なイベント及び企画展 「こども向け企画展 なぞとき展示 おりがみの暗号」 4月27日～ 5月29日 期間入館者8,962名 「夏の子ども企画展 名古屋市のうつりかわり」 7月22日～ 8月31日 期間入館者7,453名 「名古屋控訴院100年祭企画展示 たてもの百年ものがたり」 9月6日～ 9月19日 期間入館者4,466名 「名古屋控訴院100年祭企画展示 或る判事の記録～100年前の欧州渡航～」 9月10日～ 9月16日 期間入館者2,140名 「名古屋まつりポスター展」 10月8日～10月16日 期間入館者2,744名			
 こども向け企画展 なぞとき展示 おりがみの暗号 令和4年4月27日～5月29日 期間入館者8,962名  名古屋控訴院100年祭企画展示 たてもの百年ものがたり 9月6日～9月19日 期間入館者4,466名  名古屋控訴院100年祭企画展示 或る判事の記録～100年前の欧州渡航～ 9月10日～9月16日 期間入館者2,140名			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。

					(無料開放日)	
					2月8日	7月17日
●令和4年度	入館者数22,789人	貸室稼働率36%	利用者満足度100%		615人	224人
●令和3年度	入館者数16,571人	貸室稼働率38%	利用者満足度100%		350人	146人
●令和2年度	入館者数14,322人	貸室稼働率35%	利用者満足度99%		315人	91人
(令和元年度入館者数28,252人、同平成30年度32,686人)					名古屋まつり	
					873人	
					—	
					—	
					※令和2・3年度は名古屋まつり中止。	

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら企画事業を実施した。感染状況も落ち着き、入館者数も以前の状況に戻りつつあることから、今後は広報に力を入れ、入館者数の増加を図っていく。また、文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題であるため、イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

- 令和4年度 企画事業数 46件
- 令和3年度 企画事業数 35件
- 令和2年度 企画事業数 39件



パネル紹介
文化のみち全体の紹介パネルにて、エリア内の歴史的建造物などについて紹介



企画展「姫きもの展」
令和4年9月14日～19日
期間中入館者 402名



企画展「ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展」
令和4年10月8日～16日
期間中入館者 2,009名



企画展「ウッドバーニング&浮世絵きると展」
令和4年11月18日～23日
期間中入館者 794名

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況																				
文化のみち榑木館の管理運営			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																				
事業期間	平成21年度～																						
支援事業名	市単独事業																						
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち榑木館の保存・活用を進める。																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																							
歴史的建造物である文化のみち榑木館を平成21年7月17日から一般公開している。 文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。 年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。 文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。 【定量的評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>無料開放日</th> <th>2月8日</th> <th>7月17日</th> <th>名古屋まつり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度 入館者数14,182人 貸室稼働率63% 利用者満足度97%</td> <td></td> <td>191人</td> <td>141人</td> <td>483人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 入館者数8,779人 貸室稼働率40% 利用者満足度96.5%</td> <td></td> <td>171人</td> <td>187人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 入館者数5,197人 貸室稼働率26% 利用者満足度—</td> <td></td> <td>—</td> <td>81人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> (令和元年度入館者数14,270人、同平成30年度16,955人) ※令和3年度は名古屋まつり中止。令和3年12月13日～令和4年1月31日、工事休館 ※令和2年度は名古屋まつり中止。令和2年12月21日～令和3年3月15日、工事休館。					無料開放日	2月8日	7月17日	名古屋まつり	令和4年度 入館者数14,182人 貸室稼働率63% 利用者満足度97%		191人	141人	483人	令和3年度 入館者数8,779人 貸室稼働率40% 利用者満足度96.5%		171人	187人	—	令和2年度 入館者数5,197人 貸室稼働率26% 利用者満足度—		—	81人	—
	無料開放日	2月8日	7月17日	名古屋まつり																			
令和4年度 入館者数14,182人 貸室稼働率63% 利用者満足度97%		191人	141人	483人																			
令和3年度 入館者数8,779人 貸室稼働率40% 利用者満足度96.5%		171人	187人	—																			
令和2年度 入館者数5,197人 貸室稼働率26% 利用者満足度—		—	81人	—																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																						
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら企画事業を実施した。感染状況も落ち着き、入館者数も以前の状況に戻りつつあることから、今後は広報に力を入れ、入館者数の増加を図っていく。文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題であるため、イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。																						
状況を示す写真や資料等																							
令和4年度は企画事業を26件実施。 (令和3年度企画事業数22件)  常設展示 2F  企画事業「和紙スイーツ展～たからもの～」 令和4年9月9日～10月10日 期間中入館者 1,689名  企画事業「榑木館車座で語ろう！」 令和5年1月8日 当日入館者 75名  企画事業「織りと染め～尾張の木綿を知る～」 令和5年3月17日～26日 期間中入館者 726名																							

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和5年度	
支援事業名	市単独事業(名古屋市庁舎分)、県単独事業(愛知県庁舎分)	
計画に記載している内容	名古屋市役所本庁舎と愛知県庁舎(ともに重要文化財)の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
名古屋市役所本庁舎(平成26年12月10日重要文化財指定)の歴史や魅力を広く市民に伝えていくため、庁舎開放イベント(11月3日)を実施し2,000人が参加したほか、学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、閉庁日のガイドツアーを夏及び冬に実施し、計83名が参加した。 また、愛知県は、重要文化財である愛知県本庁舎の歴史的建造物としての魅力をより多くの県民に周知する事を目的とした庁舎開放イベントを開催し、3,100名が参加した。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、継続実施。 ガイドツアーの実施については、実績に応じて、開催日及び募集人数を検討。	
状況を示す写真や資料等		

名古屋市庁舎

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 : 令和4年11月3日(祝・木)
 開催時間: 午前9時00分～午後4時00分
 入場者数: 2,000人

(参考)過去3年間の入場者数

令和元年度	3,200人
令和2年度	中止
令和3年度	中止

●庁舎見学の受け入れ実績

令和4年度	15団体(323名)
-------	------------

(参考)過去3年間の受け入れ実績

令和元年度	13団体(263名)
令和2年度	11団体(70名)
令和3年度	4団体(64名)

●令和4年度ガイドツアー実施結果

開催日 : 令和4年9月4日(土)
 令和5年1月21日(土)

開催時間: ①午前10時～
 ②午後1時～

参加者総数: 83名
 ※応募総数222通

愛知県庁舎

●庁舎開放イベント実施結果

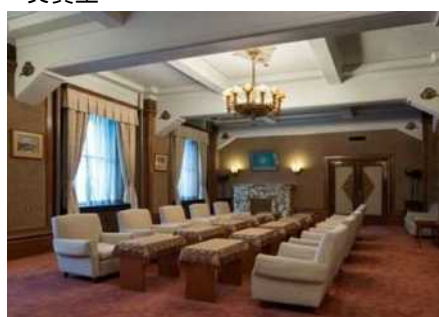
開催日 : 令和4年11月3日(祝・木)
 開催時間: 午前9時00分～午後4時00分
 入場者数: 3,100人

●ガイドツアーの主な見学箇所

・議場



・貴賓室



●庁舎見学の様子



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 日本初の集約電波塔であり、本市の戦災復興を象徴する登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋テレビ塔の耐震性及び内部の機能向上のため、平成31年1月から休館し改修工事を実施。令和2年9月にリニューアルオープンし、新たにホテルやレストラン、カフェなどが塔内にオープンしたほか、塔体に共架している市所有の照明設備をフルカラーLED化した。令和4年度については、LED化した照明設備を運用し、名古屋市及び名古屋テレビ塔の魅力向上・発信に寄与するライトアップ等を行い、栄地区のシンボルである名古屋テレビ塔の魅力を発信した。また令和4年12月には国の重要文化財に指定された。

【テレビ塔入場者数】

令和4年(1月～12月) 133,570名

令和3年(1月～12月) 87,818名

令和2年(9月～12月) 58,745名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。

状況を示す写真や資料等



【テレビ塔ライトアップ】



【イベント「青の洞窟」でのテレビ塔ライトアップ】

【栄地区まちづくりプロジェクトとは】

リニア中央新幹線の開業に向け、名駅地区と栄地区が個性を生かした魅力向上を図るため、栄地区を魅力あるまちへと再生し、持続的に発展させることを目的とした基本方針「栄地区グランドビジョン—さかえ魅力向上方針—」に基づく取り組み

○栄地区グランドビジョンにおける方針

方針1 公共空間の再生 「にぎわいと魅力にあふれた世界に誇れるシンボル空間の形成」

方針2 民間再開発の促進 「機能更新が進み活気あふれる都市空間の形成」

方針3 界限性の充実 「個性を持った多様で魅力的な界限の創出」

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況																																																	
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榑木地区)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																																	
事業期間	昭和60年度～																																																			
支援事業名	市単独事業																																																			
計画に記載している内容	白壁・主税・榑木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。																																																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																				
伝統的建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、あわせて保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行うことで、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。令和4年度は補助申請がなく、助成は行わなかったが、指導・助言は必要な物件に対し1件行った。 また、既設の案内板を維持管理し、町並みの特徴や制度に関する周知を継続している。																																																				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。また、設置済の案内板等について適切に維持管理し、劣化等が見られた場合は補修等の検討を行う。																																																			
状況を示す写真や資料等																																																				
◆白壁・主税・榑木町並み保存地区 江戸時代の武家屋敷の地割を残しており、門・塀と緑樹からなる屋敷景観と戦前の優れた近代建築が残る。 ①【補助件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>累計(昭和60年～)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伝統的建造物の修理</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>伝統的建造物以外の建造物の修景</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>必要物件の整備</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> ②【指導・助言件数(届出件数)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伝統的建造物の修理</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>伝統的建造物以外の建造物の修景</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要物件の整備</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の建築行為</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> ①令和4年度 町並み保存補助事業 令和4年度補助実績なし。白壁・榑木・主税町地区では料亭による補助申請が多いが令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により経営が見通せないことから修理等を保留していることが原因の一つと考えられる。 ②令和4年度 町並み保存地区内現状変更行為届出 2件は主たる道路に接しない敷地での個人住宅の新築、1件は既存建物の解体、1件は共同住宅の新築、残りの1件はマンションモデルルームの新築であった。 共同住宅は主たる道路に面しているが、門塀の設置及び高木の植栽がなされ、町並みに配慮されたものであった。引き続き建築行為の相談があった際には町並み保存地区のあらましを手交し、連続した門・塀と塀越しの木立の緑が豊かな町並みの特性について説明し、協力を求めていく。					令和4年度	令和3年度	令和2年度	累計(昭和60年～)	伝統的建造物の修理	0	0	1	40	伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0	13	必要物件の整備	0	0	0	1	計	0	0	1	54		令和4年度	令和3年度	令和2年度	伝統的建造物の修理	0	0	1	伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0	必要物件の整備	0	0	0	その他の建築行為	5	3	4	計	5	3	5
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	累計(昭和60年～)																																																
伝統的建造物の修理	0	0	1	40																																																
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0	13																																																
必要物件の整備	0	0	0	1																																																
計	0	0	1	54																																																
	令和4年度	令和3年度	令和2年度																																																	
伝統的建造物の修理	0	0	1																																																	
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0																																																	
必要物件の整備	0	0	0																																																	
その他の建築行為	5	3	4																																																	
計	5	3	5																																																	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史的町並み保存事業(四間道地区)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。令和4年度は1件の助成を行い、歴史的景観の維持・継承を図ること

で、歴史的風致の維持向上に寄与している。

あわせて、保存地区において建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言

を行った。指導・助言件数は2件。

また、既設の案内板を維持管理し、町並みの特徴や制度に関する周知を継続している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。また、設置済の案内板等について適切に維持管理し、劣化等が見られた場合は補修等の検討を行う。

状況を示す写真や資料等

◆四間道町並み保存地区

慶長15年に始まった清州越しにともなつてつくられた商人町で、土蔵群と町家が堀川の水運を利用して隆盛を誇った清州越し商人の栄華を今に伝える。

【補助件数】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	累計(昭和60年～)
伝統的建造物の修理	1	5	2	69
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	2	17
必要物件の整備	0	0	0	6
計	1	5	4	92

○令和4年度の町並み保存補助事業

※伝統的建造物の修理



修理前



修理後

土蔵外壁の漆喰塗の劣化に伴う漆喰塗替え、樋の取替を実施した。

【指導・助言件数(届出件数)】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
伝統的建造物の修理	0	2	1
伝統的建造物以外の建造物の修景	1	0	2
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	1	2	2
計	2	4	5

※その他の建築行為は伝統的建造物以外の建物の解体であり、今後新築する建物については周囲の町並みに調和するよう指導している。

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
徳川園の管理運営		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園(庭園)を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
各年度を通して、季節の風情を感じる催事や徳川家を中心とした歴史にまつわる催事を企画し、企画によっては隣接する蓬左文庫、徳川美術館と連携してバランスのとれた行事の実施に取り組んできた。令和4年度は、好評の新春万歳や流し雛といった歴史風情に感じるイベントのほか、菊里高校箏曲部の演奏やクラシックコンサートを新たに開催し好評を得た。令和4年度も継続し感染症対策を行った上で各イベントを開催。安心してイベントに参加出来るよう配慮した。旅行関連、観光ホテルへの徳川園多言語パンフレット(主に英語、中国語、韓国語)の配架、SNSを中心としたネット広報をしており外国人のリアクションも多数得た。(公式サイト令和4年度アクセス314,325人、PV949,438 前年比125%、117%) ●令和4年度 入園者数 234,535人(前年比124.7%) ●令和3年度 入園者数 188,073人 ●令和2年度 入園者数 147,740人 ●令和元年度 入園者数 330,850人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も新型コロナの感染状況を勘案しつつ、行政の指導を遵守し、引き続き利用者対応に配慮し、来園者に城下の歴史文化を楽しみながら感じてもらえる企画を実施していく。	
状況を示す写真や資料等		

新春万歳



伝統の祝福芸「尾張万歳」を、黒門前にて口上・挨拶、徳川園ガーデンホールにて演目披露(午前午後)。演目披露前は、有料区域、無料区域、美術館内にて挨拶を披露し、新年の雰囲気演出。感染症対策を継続し、入場者数制限(整理券配布午前午後各80名)にて実施。
当日(1/8)の入園者数は1,430人。

流し雛



流し雛は現在の雛飾りの原型とされ、源氏物語にもその記述が残っている。徳川美術館の雛飾りの時期と合わせ園内龍仙湖に再現した。天候は雨のち晴れでしたが親子を含め幅広い年齢層が参加。(整理券を配布し150組)雛人形を乗せる竹製の舟は竹林で2年経過した竹を選び間伐を兼ね利用。
当日(2/23)の入園者数は1,343人。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況																												
蓬左文庫の保存と公開活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																												
事業期間	平成16年度～																														
支援事業名	市単独事業																														
計画に記載している内容	尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進める。																														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																															
古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示を開催した。また、蔵書の調査研究の成果をもとに講演会・講座を開催した。また、日頃の調査研究として、尾張名古屋の歴史資料の活字化や、広報紙「蓬左」で、蔵書等を市民にわかりやすく紹介した。 ●令和4年度入館者数 170,971人 ●令和3年入館者数 113,570人 ●令和2年度入館者数 69,851人																															
hito	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																														
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、閲覧・展覧会・調査研究事業等を実施した。今後も、同じ敷地内にある徳川美術館・徳川園と連携し、展示や講演会・講座等を実施していく。																														
1 閲覧室 閲覧室利用者数 1,551人(令和3年度:1,164人 令和2年度:981人) 閲覧件数 1,195件 閲覧冊数 13,642冊 レファレンス 294件																															
2 展覧会 <table border="0"> <tr> <td>・春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」</td> <td>令和4年 4月10日(日)～ 5月22日(日)</td> <td>観覧者数</td> <td>18,560人</td> </tr> <tr> <td>・秋季特別展「名物一由緒正しき宝物」</td> <td>令和4年 9月17日(土)～11月6日(日)</td> <td>観覧者数</td> <td>32,645人</td> </tr> <tr> <td>・企画展 「大名の冠・婚・葬・祭」</td> <td>令和4年 5月28日(土)～ 7月18日(日)</td> <td>観覧者数</td> <td>18,894人</td> </tr> <tr> <td>・企画展 「祭りの世界-風流と仮装-」</td> <td>令和4年 7月24日(日)～ 9月11日(日)</td> <td>観覧者数</td> <td>16,041人</td> </tr> <tr> <td>・企画展 「鷹狩」</td> <td>令和4年11月12日(土)～12月15日(木)</td> <td>観覧者数</td> <td>17,947人</td> </tr> <tr> <td>・企画展 「徳川文房博」</td> <td>令和5年 1月 4日(水)～ 1月29日(日)</td> <td>観覧者数</td> <td>9,018人</td> </tr> <tr> <td>・企画展 「読み解き 近世の書状」</td> <td>令和5年 2月4日(土)～ 3月31日(金)</td> <td>観覧者数</td> <td>35,586人</td> </tr> </table>				・春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」	令和4年 4月10日(日)～ 5月22日(日)	観覧者数	18,560人	・秋季特別展「名物一由緒正しき宝物」	令和4年 9月17日(土)～11月6日(日)	観覧者数	32,645人	・企画展 「大名の冠・婚・葬・祭」	令和4年 5月28日(土)～ 7月18日(日)	観覧者数	18,894人	・企画展 「祭りの世界-風流と仮装-」	令和4年 7月24日(日)～ 9月11日(日)	観覧者数	16,041人	・企画展 「鷹狩」	令和4年11月12日(土)～12月15日(木)	観覧者数	17,947人	・企画展 「徳川文房博」	令和5年 1月 4日(水)～ 1月29日(日)	観覧者数	9,018人	・企画展 「読み解き 近世の書状」	令和5年 2月4日(土)～ 3月31日(金)	観覧者数	35,586人
・春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」	令和4年 4月10日(日)～ 5月22日(日)	観覧者数	18,560人																												
・秋季特別展「名物一由緒正しき宝物」	令和4年 9月17日(土)～11月6日(日)	観覧者数	32,645人																												
・企画展 「大名の冠・婚・葬・祭」	令和4年 5月28日(土)～ 7月18日(日)	観覧者数	18,894人																												
・企画展 「祭りの世界-風流と仮装-」	令和4年 7月24日(日)～ 9月11日(日)	観覧者数	16,041人																												
・企画展 「鷹狩」	令和4年11月12日(土)～12月15日(木)	観覧者数	17,947人																												
・企画展 「徳川文房博」	令和5年 1月 4日(水)～ 1月29日(日)	観覧者数	9,018人																												
・企画展 「読み解き 近世の書状」	令和5年 2月4日(土)～ 3月31日(金)	観覧者数	35,586人																												
3 講演会・講座 <table border="0"> <tr> <td>・講演会「広重の名所絵のつくられかた」</td> <td>令和4年 4月10日(日)</td> <td>参加者</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>・講座「問い直す名物刀剣のイメージ」</td> <td>令和4年10月1日(土)</td> <td>参加者</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>・講演会「蓬左文庫の六国史」</td> <td>令和4年10月27日(木)</td> <td>参加者</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>・講座「近世武家文化 蓬左文庫を訪ねて」</td> <td>令和5年 2月15日(水)</td> <td>参加者</td> <td>20人 (東生涯学習センターとの共催)</td> </tr> </table>				・講演会「広重の名所絵のつくられかた」	令和4年 4月10日(日)	参加者	50人	・講座「問い直す名物刀剣のイメージ」	令和4年10月1日(土)	参加者	60人	・講演会「蓬左文庫の六国史」	令和4年10月27日(木)	参加者	60人	・講座「近世武家文化 蓬左文庫を訪ねて」	令和5年 2月15日(水)	参加者	20人 (東生涯学習センターとの共催)												
・講演会「広重の名所絵のつくられかた」	令和4年 4月10日(日)	参加者	50人																												
・講座「問い直す名物刀剣のイメージ」	令和4年10月1日(土)	参加者	60人																												
・講演会「蓬左文庫の六国史」	令和4年10月27日(木)	参加者	60人																												
・講座「近世武家文化 蓬左文庫を訪ねて」	令和5年 2月15日(水)	参加者	20人 (東生涯学習センターとの共催)																												
4 調査研究 ・尾張名古屋の歴史資料を活字化し、「青窓紀聞(3)」を発行をした。 ・デジタル版「鸚鵡籠中記」をCD発行した。 ・蓬左文庫の典籍を紹介した広報誌「蓬左」を発行配布した。																															



蓬左文庫ガイダンスホール



「続日本紀」(重要文化財)



広報紙「蓬左104号」

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
堀川の総合整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)		
計画に記載している内容	堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施することにより、沿川の歴史的資産やまちづくりの基盤となる堀川の周辺環境を洪水被害から守るとともに、周辺環境に配慮し、石積み風護岸を整備した。			
令和4年度 護岸整備延長 約0.7km(見込み)			
令和4年度 河道掘削量 約700m3(見込み)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	河川整備工事には時間を要するが着実な事業進捗を図っていく。 また、水辺空間を利活用することでのぎわいづくりを進める。		

状況を示す写真や資料等

【整備例】 桜橋上流の護岸工事

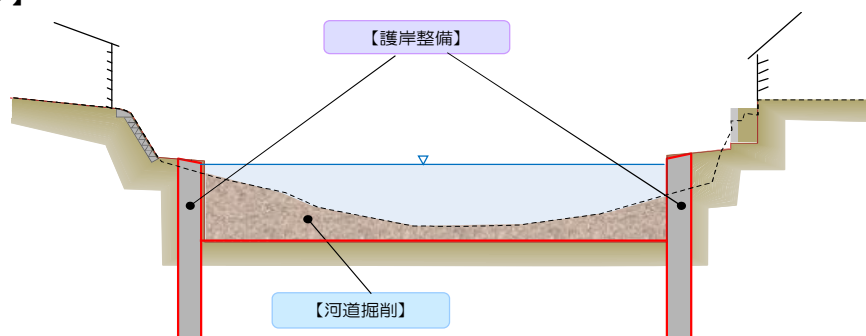


工 事 前



工 事 後

【整備イメージ】



【参 考】 納屋橋地区のライトアップ整備



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
尾張名所図会看板の整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。

【設置基数】 24年度…2基、25年度…0基、26年度…2基、27年度…2基、28年度…0基、29年度…1基、30年度…3基
元年度…0基、2年度…0基、3年度…0基、4年度…0基 計:10基

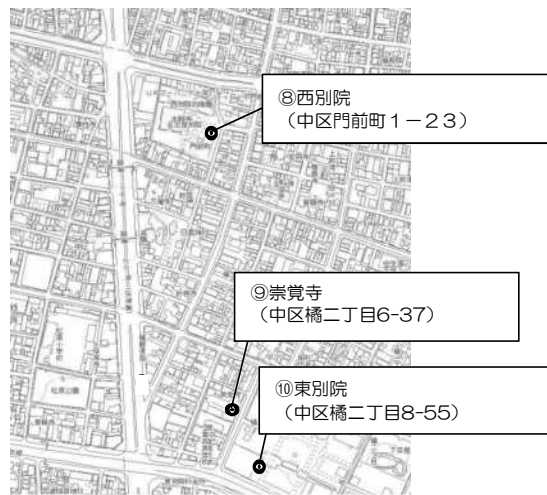
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和元年度以降予算措置がなく、新規設置ができていないため、今後の設置について検討する必要がある。設置済みの看板については適切な維持補修に努める。

状況を示す写真や資料等

○設置状況



熱田界隈



城下町界隈



【正覚寺 H27設置】



年度	基数	尾張名所図会内容	設置場所
H24	2	断夫山 夜寒里古覧	熱田神宮公園 旗屋小学校
H26	2	白鳥山法持寺 法華堂本遠寺	法持寺 本遠寺
H27	2	妙光山誓願尼寺 龜足山正覚寺	誓願寺 正覚寺
H29	1	亀井山円福寺	円福寺
H30	3	西本願寺 掛所 長嶋山崇覚寺 東本願寺 掛所	西本願寺 崇覚寺 東本願寺
合計	10		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
中川運河の再生			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～(堀止緑地の整備は令和5年度までを予定)		
支援事業名	港湾整備事業 (中川運河護岸・堀止緑地)		
計画に記載している内容	名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改良、松重閘門の再生を目指す。		
定性的・定量的評価 (自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
① 堀止緑地の整備 緑地の整備によって緑豊かな空間の創出が図られた。 ・令和4年度 緑地整備(植栽474㎡、給水設備1式) ② 護岸改良 老朽化した護岸の改良によって安全性の確保が図られた。 ・令和4年度 護岸改良(護岸工116m)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針 (自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		護岸改良には多額の費用が必要のため時間を要するが、着実な事業進捗を図っていく	
状況を示す写真や資料等			
①堀止緑地 		③護岸改良 	
②堀止緑地 			
<沿岸用地の将来の土地利用> にぎわい系 にぎわい・産業系 産業系 緑地系 プロムナード		<背後地の現在の土地利用> にぎわい系 産業系 住居系 緑地系	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	国庫補助事業(社会資本整備総合交付金事業(都市公園事業)、官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業)及び市単独事業		
計画に記載している内容	大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

久屋大通の再生において、北エリア・テレビ塔エリアでは令和2年度に開業した「Hisaya-odori Park」の適切な管理運営、賑わいの創出に取り組んだ。また、南エリアでは、令和2年3月に久屋大通再生有識者懇談会より受領した「久屋大通のあり方(南エリア部分)」の提言をふまえ、事業化に向けた考え方のベースとなる再整備プランの検討を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	南エリアについて、市民の意見を聴取しながら、再整備プランの検討を進め、策定する。

状況を示す写真や資料等

- 令和2年9月18日 「Hisaya-odori Park」の開業
- 令和3年3月29日 第11回久屋大通再生有識者懇談会の開催

栄地区グランドビジョン

北エリア

「都会の安らぎ空間」

豊富な緑を活かした落ち着いたある憩いの空間を創出し、気軽に利用できる公園を目指します。

テレビ塔エリア

「観光・交流空間」

多目的に活用できる芝生広場や、テレビ塔のシンボル性を強化し、観光客や市民が広く交流できる公園を目指します。

南エリア

「にぎわいの空間」

大規模イベント空間の充実を図り、来訪者が集い楽しむことのできる公園を目指します。

■令和2年9月18日
「Hisaya-odori park」開業

事業期間
20年間(～令和20年2月末)

事業対象区域
久屋大通公園のうち
外堀通から錦通まで(約5.45ha)

主な事業内容
飲食・物販等の公募対象公園
施設の整備・管理運営
園路・広場等の特定公園施設の整備・管理運営

■令和2年3月26日
「久屋大通のあり方(南エリア部分)」の提言

↓

「久屋大通(南エリア)再整備プラン」の検討

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に311基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。令和4年度は、標札の新設や説明文の修正や経年劣化による文字の剥がれ等を塗り替えや補修を行った。
また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を図ったほか、案内板については補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

史跡名勝標札の新設のほか、設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる史跡名勝標札や案内板の補修も、計画的に進めている。

状況を示す写真や資料等

【案内板新設等件数】

種別	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新設	1	1	3
再設置	1	5	1
補修・訂正	7	23	11
作り直し	0	0	1
完全撤去	0	0	1
設置累計	311	310	309

「史跡名勝標札」の新設(中区 下園公園 尾張柳生家屋敷跡)

【設置前】

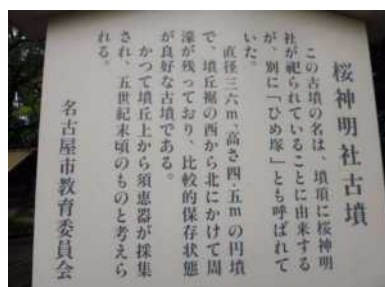


【新設後】



「史跡名勝標札」の塗替と補修(南区 桜神明社古墳)

【施工前】



【施工後】



市指定文化財に指定されたため表記を改訂して塗替えと支柱の傾斜を修正した。

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史的建造物の登録・認定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を登録地域建造物資産・認定地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計231件、認定資産は計98件(ともに累計)となった。
登録・認定件数は順調に増えており、身近な歴史的建造物を大切にするという意識も生まれ、登録・認定することにより歴史的建造物の滅失に歯止めをかける効果を実感することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

名古屋市総合計画2023の目標である「令和5年度に登録・認定累計300件」は達成したが、今後も、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
H27	9	0	9
H28	14	0	14
H29	14	7	21
H30	20	1	21
R1	6	10	16
R2	8	4	12
R3	2	5	7
R4	20	10	30
合計	231	98	329
(うち登録→認定)	(44)		(44)
(うち抹消)	(23)	(3)	(26)

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	9
H29	12
H30	4
R1	2
R2	9
R3	1
R4	10
合計	79

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
H27	1
H28	2
H29	0
H30	1
R1	3
R2	2
R3	3
R4	6
合計	28

令和4年度の経済的支援は、個人住宅・美術館・店舗等の外観保存工事等6件に対して助成

■登録・認定地域建造物資産(令和4年度登録・認定物件(一部))



登録 第226号 Gallery+Cafe blanka
(中区丸の内)



認定 第91号 懐石志ら玉 新館
(北区上飯田西町)



認定 第92号 善光寺別院願王寺 蔵1
(西区中小田井)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
なごや歴まちびとの派遣		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行い、所有者の相談に応えることで歴史的建造物の保存に繋がっており、歴史的風致の維持向上に寄与している。

【なごや歴まちびと登録人数】令和4年度末現在:75人 【派遣件数】令和4年度:10件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの知識・技術を向上するべくフォローアップ講座の内容を検討している。

状況を示す写真や資料等

■派遣制度の仕組み

なごや歴まちびと派遣制度



■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
- ・活用に向けた修理計画について
- ・耐震診断について
- ・活用検討のための調査、間取り図作成について

など

■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	7
H29	12
H30	4
R1	2
R2	9
R3	1
R4	10
合計	77

■建物調査・相談の様子(技術的支援)



令和4年7月25日
 聖マルコ教会
 耐震改修について



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化のみちの推進			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成11年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。 文化のみちにある施設が連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に繋がり歴史的風致の維持向上に寄与している。 【連携事業参加者数】 令和4年度 令和3年度 令和2年度 「歩こう！文化のみち」イベント 431人 — — ※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ※令和4年度の参加者数は、「歩こう！文化のみちクイズラリー2022」の参加者数。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染防止対策として、11月3日～27日の約1ヶ月間の開催期間を設け、各施設で様々なイベントを開催した。期間中を通じたイベントとして「歩こう！文化のみちクイズラリー2022」を実施した。今後も文化のみち施設による個々の企画や発信だけでなく、連携した取組みを推進していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

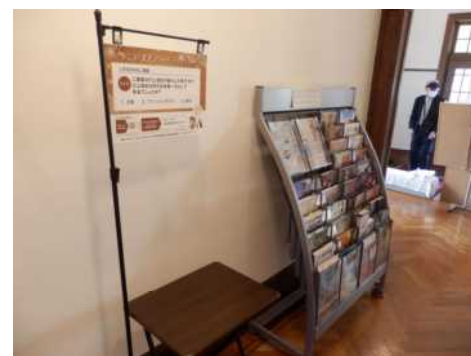
【実施イベント】

「歩こう！文化のみちクイズラリー2022」
 令和4年11月3日～27日
 参加者数: 431人

(クイズ掲出の様子)



名古屋陶磁器会館



文化のみち二葉館

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費

計画に記載している内容 指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付することで、地域の貴重な文化財の保存が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。

(令和4年度市指定文化財等の保存修理事業として4件補助を実施)

(令和元年度実績:7件 令和2年度実績:5件 令和3年度実績:3件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。

状況を示す写真や資料等

○令和4年度補助金交付一覧

名称	種別	行為
深沢第3号墳	史跡	危険木伐採、除草、樹木剪定、薬剤散布
宝珠院のイヌナシ	天然記念物	枯枝の除去、生育に悪影響を及ぼす枝の除去、害虫駆除、剪定
旧旅籠屋伊勢久	建造物	解体保存工事
竹田家住宅	建造物	主屋屋根ケラバ破風および母屋の修理

○竹田家住宅(緑区有松)保存修理事業



工事前



工事後

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく「地域まちづくり」を支援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 令和元年度サポート制度活用団体 6団体 令和2年度サポート制度活用団体 7団体 令和3年度サポート制度活用団体 4団体 令和4年度サポート制度活用団体 7団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域まちづくりに取組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。 【地域まちづくり活動団体登録: 平成29年度 19団体、平成30年度 24団体、令和元年度 27団体、令和2年度 28団体、令和3年度 30団体、令和4年度33団体】(平成29年度から登録認定制度運用開始)		
状況を示す写真や資料等			
◆令和4年度サポート制度を活用し、行われた主な地域まちづくり活動の様子			
			
《かんでらmonzen亭》 道路空間の活用可能性を検討するための社会実験の実施 (写真は令和4年11月12日、13日に開催された社会実験「笠寺盆マルシェ」の様子)		《名駅東花車・船入地区まちづくりの会》 構想づくりに向けて、地域内での交流を促すことを目的にマルシェを実施 (写真は令和4年10月10日に開催されたマルシェ「花ぐるマルシェ」の様子)	
【その他の団体の活動】			
《金山駅前まちそだて会》 アドバイザー派遣や助成を活用し、団体のHPを作成。			
《大曽根まちそだて会》 助成を活用し、団体の活動を紹介するにユースレターの発行等を行う。			
《藤巻町自治会》 アドバイザー派遣を活用し、今までの活動の振り返りや今後のまちづくりのすすめ方の検討を行う。			
《藤が丘まちづくり協議会》 助成を活用し、構想づくりに向けた先進地視察やアンケート調査を行う。			
《大杉学区連絡協議会》 アドバイザー派遣を活用し、地域まちづくり団体の登録に向けて組織化の検討を行う。			

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成4年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。
 平成28年度は、鷺之廊下の壁貼付絵、上洛殿上段之間の天井板絵など44面を制作した。
 平成29年度は、上洛殿松之間の襖絵や上洛殿三之間の天井板絵など48面を制作した。
 平成30年度は、上洛殿松之間の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など35面を制作した。
 令和元年度は、上御膳所御上段の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など52面を制作した。
 令和2年度は、湯殿書院上段之間の襖絵や上洛殿一之間の天井板絵など42面を制作した。
 令和3年度は、湯殿書院上段之間の壁貼付絵や湯殿書院上段之間の天井板絵など47面を制作した。
 令和4年度は、湯殿書院二之間の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など54面を制作した。
 制作した障壁画を本丸御殿に展示し、名古屋城の歴史的魅力的の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める。
状況を示す写真や資料等	

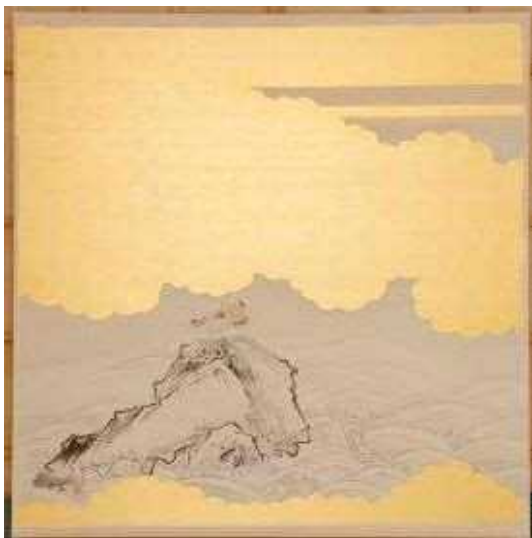
【令和4年度 制作画面(一部)】

湯殿書院二之間
壁貼付絵

上洛殿一之間天井板絵

(単位:面)			
制作実績	襖絵等	天井	合計
H4～R3	477	373	850
R4	21	36	57
合計	498	409	907

※先行制作した模写の購入面も含む



作業風景

令和4年度末 進捗率 68% (1,325面中907面完了)

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
名古屋城旧本丸御殿障壁画保存修理		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和61年度～	
支援事業名	文化資源活用事業費補助金	
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。 平成28年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、上洛殿の襖絵8面、玄関等の杉戸絵8面の点検修理を行った。 平成29年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、玄関の障子腰貼付絵など18面の点検修理を行った。 平成30年度は、上洛殿の天井板絵25面の保存修理、上洛殿や表書院の襖絵など16面の点検修理を行った。 令和元年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理、黒木書院や玄関の襖絵15面の点検修理を行った。 令和2年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、対面所の襖絵12面の点検修理を行った。 令和3年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、対面所の襖絵など14面の点検修理を行った。 令和4年度は、上洛殿の天井板絵27面の保存修理、対面所の襖絵など17面の点検修理を行った。 重要文化財である名古屋城本丸御殿障壁画の保存修理を行うことで、貴重な文化財の保存・継承することにより、名古屋城の歴史的魅力の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う。	
状況を示す写真や資料等		
【令和4年度 修理画面(一部)】		
 上洛殿一之間天井板絵(修理後)  上洛殿三之間天井板絵(修理後)  対面所次之間障子腰貼付絵 風俗図(点検・修理後)  御湯殿書院上段之間襖絵 竹椿図(点検・修理後)		

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
郷土ゆかりの文学資料室			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。 (令和3年度)金子光晴氏寄贈資料(85点)、小谷剛氏寄贈資料(25点)春日井建氏寄贈資料(2点)岡井隆氏寄贈資料(1点) (令和4年度)山中散生、尾崎久弥、亀山巖等昭和初期中部圏詩人資料(1281点)、渡辺露亭・国枝史郎資料(36点)、春日井建氏資料(11点)、 現代中部圏作家資料(98点) ○収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催し、市民等の歴史的風致に対する認識の向上に寄与した。 (令和3年度)岡井隆の歌業 没一年を偲んで、江戸川乱歩と小酒井不木展、名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞作家展、城山三郎展 (令和4年度)福永令三の児童文学展、児童文学リバイバル展、朗読 江戸川乱歩を読む、愛知の美味しい文学展、永瀬清子と茨城のり子展			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文学資料の調査・保存について今後も継続実施するとともに、さらに多くの方々に施設に訪れていただき、興味を持っていただけるよう、今後もインターネットを活用するなどより効果的な周知方法を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
○文学資料(寄贈品)の調査・保存 (令和3年度) ・金子光晴氏新規寄贈資料…直筆色紙、限定本、写真雑誌、初版書籍はじめ85点 ・小谷剛氏新規寄贈資料…著書、同人誌、関連書籍、日記・交流記録はじめ25点 ・春日井建氏新規寄贈資料…直筆色紙、著書2点 ・岡井隆氏新規寄贈資料…著書1点 (令和4年度) ・山中散生、尾崎久弥、亀山巖等昭和初期中部圏詩人資料…直筆原稿、直筆書簡、直筆絵画はじめ1281点 ・渡辺露亭・国枝史郎資料…初版書籍36点 ・春日井建氏資料…所蔵絵画、直筆絵画はじめ11点 ・現代中部圏作家資料…太田忠司氏、水生大海氏書籍98点			
			
		寄贈・調査対象資料	
○文学関係企画展 (令和3年度) ・「岡井隆の歌業 没一年を偲んで」 6月10日～7月25日 期間中入場者1,529名 ・「江戸川乱歩と小酒井不木展」 8月4日～9月2日 期間中入場者 654名 ・「名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞作家展」 10月8日～11月14日 期間中入場者 2,548名 ・「城山三郎展」2月5日～3月6日 期間中入場者 1,810名 (令和4年度) ・「虹色のクレヨン王国～福永令三の児童文学展～」6月1日～7月18日 期間中入場者数2,489人 ・「児童文学リバイバル展 名古屋・愛知の昔話」8月3日～9月4日 期間中入場者数1,032人 ・「朗読 江戸川乱歩を読む」8月21日 期間中入場者数85人 ・「愛知の美味しい文学展」10月5日～11月30日 期間中入場者数5,635人 ・「現代詩の母・永瀬清子と現代詩の長女・茨城のり子」2月5日～3月5日 期間中入場者数2,937名			
			
児童文学リバイバル展		愛知の美味しい文学展	

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
水上交通ネットワークの検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
中川運河水上交通定期運航・分析を引き続き実施			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		PR強化や企画商品の造成などにより利用者数の底上げを図りながら、引き続き運航を継続実施する	

状況を示す写真や資料等

【運航ルート】



【R4年度運航状況】

令和4年度乗船者数: 12,506人
(令和3年度: 5,578人)



長良橋より



中川口通船門

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
「ものづくり文化の道」推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示などが楽しめる「ものづくり文化の館」を開催した。 ○イオンモールNagoya Noritake Garden会場 日時: 令和4年8月27日(土)、28日(日)午前11時～午後4時 内容: 名古屋友禅染体験・実演、名古屋提灯体験、レザークラフト体験、名古屋黒紋付染体験・販売、名古屋扇子体験・販売、大正琴体験 参加人数: 175人 アンケートでは、参加者全員が内容について「とても良い」、「良い」と答えるなど好評であった。 ○区民まつり会場 日時: 令和4年11月3日(木・祝)午前10時～午後3時 内容: 名古屋友禅染・革工芸品・名古屋扇子の販売、屋根神文化の紹介 ●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、ガイドによるまち歩き・ものづくり体験を行う「ものづくり文化の道体験ツアー」を開催した。 アンケートでは、参加者全員が西区の魅力がわかったと答えるなど好評であった。 【実施】 日時: 令和4年11月26日(土) 内容: レザークラフト体験、歴史的町並み散策 参加人数: 18人			
場所	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	ものづくり文化の道体験ツアーでは、子どもと保護者を対象に体験教室もあわせて実施したため、募集人数に限られることや、体験を目的とした参加者が多く、まち歩きに対する興味が薄いなどの課題があった。次年度はウォーキングイベントとして実施することで、募集人数を増やし幅広い世代に向けて魅力発信をしていく。		
状況を示す写真や資料等			
「ものづくり文化の道」マップ 		8月27日(土)、28日(日)ものづくり文化の館 名古屋黒紋付染体験の様子 (イオンモールNagoya Noritake Garden) 	
		11月3日ものづくり文化の道体験ツアー まちあるきの様子(美濃路:伊藤家住宅前) 	

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況			
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成25年度～					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	およそ400年前の清須越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
・令和4年10月22日(日)第46回堀川文化講座「名古屋の栄さまと「得月楼」父の遺稿からよもやま話」を開催。参加者78名 ・令和4年11月5日(土)第27回堀川文化歩こう会「堀川兩岸の歴史と文化を探る」を開催。参加者57名						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も継続して、市民グループと協議しながら魅力を発信していく。					

状況を示す写真や資料等

第27回堀川文化歩こう会「堀川兩岸の歴史と文化を探る」



堀川沿いの史跡



洲崎神社(天王崎 天王社)

第46回堀川文化講座「名古屋の栄さまと「得月楼」父の遺稿からよもやま話」



【文化講座の概要】

納屋橋の近くにあった、かつて、多くの文化人のサロンとして賑わった料亭「得月楼」。その六代目当主である寺田栄一氏を父にもつ寺田繁氏を講師に招き、「得月楼」を中心に様々な文化人と親交を結んだその生涯を語る。

アンケート結果(回答者78人)

- ・参加の回数について＝はじめて63.2%
- ・参加のきっかけ＝テーマに興味63.2%
- ・評価＝とてもよかった26.3%、よかった45.6%

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
熱田区役所における歴史資料展示			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成22年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している 内容	熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、故福島重夫氏等から寄贈された歴史資料を展示する。 【資料展示の経緯】 区の特徴を出した事業として、当時熱田生涯学習センターに所蔵されていた福島氏の資料を区役所に展示するという計画が上がり、展示コーナーが設置された。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の影響により歴史資料室の活動が制限される中、年1回の展示替えを行った。
 歴史資料の分類整理について、展示替え作業と並行して保存、管理を行った。
 認知度を高めるため、庁舎内掲示板等を活用し、周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	課 題: 熱田区歴史資料展示コーナーの認知度を高めること 対応方針: 庁舎内の案内表示やホームページの充実

状況を示す写真や資料等

第23回展示「熱田に伝わるお話」 令和3年6月30日～令和4年6月27日



展示の様子1

アンケート回収 23名
【展示内容について】
 よかった…………… 19名
 ふつう…………… 4名



展示の様子2

第24回展示「広重 五十三次のおもかげ」 令和4年7月1日～令和5年3月27日



展示の様子1

アンケート回収 59名
【展示内容について】
 よかった…………… 49名
 ふつう…………… 8名
 よくなかった……… 1名
 未記入…………… 1名



展示の様子2

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
名古屋まつり			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和30年度～		
支援事業名	市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）		
計画に記載している内容	昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
名古屋まつりを開催し、多くの市民及び本市来訪者等に、市の伝統・文化・魅力に触れていただくなど、歴史的風致の維持向上に寄与した。 令和4年(第68回)名古屋まつりは10月15日(土)・16日(日)を中心に開催。 【例年の主な事業】 ・郷土英傑行列を始めとした行列 ・久屋大通公園を中心とした会場行事 【人出】 令和4年度 125万人(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、規模を縮小し、感染防止策を徹底しながら開催) 令和3年度 中止(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) 令和2年度 中止(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) 令和元年度 153万人(雨天のため、土曜日の行列を中止) 平成30年度 221万人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、規模を縮小し、感染防止策を徹底しながらの開催となった。(山車揃、子ども会みこしパレード、少年鼓笛隊【郷土英傑行列】の中止等)。令和5年度以降はコロナ禍以前の規模、内容に戻すことを前提に名古屋の伝統・文化・魅力にふれていただくまつりを計画的に実施する。	
状況を示す写真や資料等			
 行列行事: 郷土英傑行列 (令和4年10月15日)		 行列行事: 神楽揃 (令和4年10月16日)	
 会場行事: 久屋大通公園会場 (令和4年10月15日)		 イベントマップ (令和4年10月15日・16日)	

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助		
計画に記載 している内容	指定文化財である山車祭り等、地域の民俗芸能・伝統行事の継承や山車などの保存修理等について補助する。また、市内遺跡から出土した遺物を展示し、公開活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。 補助件数 令和4年度16件(山車の保存・修理等に対する補助11件(うち後継者育成事業に対する補助1件)、山車以外の民俗文化財等に対する補助5件) ・名古屋の歴史や文化の魅力を紹介する観光情報アプリ「なごや歴史探検」の運用を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
○東区湯取車の山車車軸・車輪修理 山車が保管されている現場にて、専門家と保存団体を交えて修理業者と協議している様子。 			
○市内遺跡の出土遺物展示 南区の桜神明社古墳出土遺物を体感！しだみ古墳群ミュージアムで展示した。 			
○アプリ「なごや歴史探検」 期間内登録者数(令和4年4月～令和5年3月) 新規登録者数 5029(内訳: 日本語4700、英語163、中文簡体72、中文繁体62、韓国語32) 設定コースの達成者延べ955名			

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
伝統産業若手育成事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・令和2年度補助金交付件数:8件 ・令和3年度補助金交付件数:6件 ・令和4年度補助金交付件数:6件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業を担う人材の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
【名古屋の伝統産業】 ・有松・鳴海絞 ・名古屋節句飾 ・木桶 ・七宝 ・名古屋桐箆箭 ・名古屋扇子 ・名古屋提灯 ・名古屋仏壇 ・名古屋友禅 ・名古屋黒紋付染 ・和蠟燭 ・尾張仏具			
【補助金交付団体の活動例】  ◀ 【尾張七宝】 19世紀にオランダ船がもたらした七宝焼の皿を研究し、銅の地金に金属線などを植え付けて下絵とし、釉薬を差す技法を考案した。その後、釉薬の改良や技法の発展により、19世紀後半には代表的な輸出工芸品となった。 (補助金交付団体名) 名古屋七宝協同組合  ◀ 【尾張仏具】 江戸期より名古屋城下において、下級武士の内職として興る。木製漆塗り製品を中心とし、製造におけるそれぞれの作業が独立した職人たちによって行われる点が特徴。 仏具以外にも神具、祭礼具などの製造も行う。 (補助金交付団体名) 尾張仏具技術保存会  ◀ 【名古屋提灯】 名古屋提灯は明治初期には貴重な輸出品としてもはやされ、全国一の生産を誇った時期もあったといわれる。現在は、盆提灯・観光土産用提灯などが多く生産されている。 (補助金交付団体名) 名古屋提灯製造組合			

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
伝統産業新商品開発事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・令和2年度補助金交付件数:3件 ・令和3年度補助金交付件数:2件 ・令和4年度補助金交付件数:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も現代ニーズに合った商品開発の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			



◀【尾張仏具】

江戸期より名古屋城下において、下級武士の内職として興る。木製漆塗り製品を中心とし、仏具以外にも神具、祭礼具などの製造も行う。

・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会

・新商品名
「伝統工芸日用品」

伝統工芸の技術を日用品に施すことによりその技術やデザインを身近に感じ、伝統=古いものと言う感覚を一新できるよう



◀【名古屋仏壇】

江戸時代中期、元禄年間より製造が始まったとされる。名古屋仏壇は台の部分が高く、宮殿御坊造を代表とした豪華な構造が特徴。

・補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合

・新商品名
「携帯仏壇(豆仏壇)」
持ち運びも可能なサイズとし、父・母・子(男女)、祖父・祖母、愛犬、愛猫用の8種を製作。8種の塗り方を採用し、違いが見て分かるものとした。



評価軸③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
伝統産業製品PR事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・令和2年度補助金交付件数:4件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:0件) ・令和3年度補助金交付件数:0件(第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会の愛知県開催対応及び新型コロナ影響のため、申請なし) ・令和4年度補助金交付件数:8件(展示会等出展:3件、PR冊子等作成:5件、体験教室等:0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業製品のPR支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
 ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会 ・事業内容 パンフレット作成  ・補助金交付団体名 わざもん衆 ・事業内容 パンフレット作成  ・補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合 ・事業内容 パンフレット作成  ・補助金交付団体名 名古屋友禅黒紋付協同組合連合会 ・事業内容 リーフレット作成			

評価軸③-35

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
名古屋市民芸術祭		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
名古屋市民芸術祭2022参加公演事業では、音楽・演劇・舞踊・伝統芸能などの4部門で参加を募り、特に表彰に値する公演に市民芸術祭特別賞を授与した。 (伝統芸能部門 参加公演数: R2は6公演、R4,R3,R1,H29,H28は4公演、H30は3公演 市民芸術祭賞: R4,R1,H30,H29は1公演、R3,H28は該当なし 市民芸術祭特別賞: R3,R1,H30,H29,H28は1公演、R4は該当なし) ※令和2年度については、芸術祭賞、特別賞の選定を行っていない。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナ禍における開催となるため、感染拡大状況などを踏まえて、公演開催や鑑賞方式について慎重に検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 「竹本知子 箏リサイタル2022」 日程: 11月3日(木・祝) 会場: 電気文化会館 ザ・コンサートホール ●参加公演事業(伝統芸能部門) 令和4年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞「竹本知子 箏リサイタル2022」(参加者158人) ・市民芸術祭特別賞 該当なし 令和3年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞 該当なし ・市民芸術祭特別賞 「登龍亭獅鉄 らくご芝居『新・中村仲蔵』」(参加者94人) (チャレンジ賞) 令和2年度(参加公演数 6公演) ・日本舞踊瑞鳳流家元継承10周年記念 第4回瑞鳳澄依リサイタル～コロナ禍の中で～(参加者100人) ・出雲草 語り舞 11th Live～光と影～(参加者74人) ・淡交会別会 故橋岡慈観師七回忌追善(参加者278人) ・第64期第3回名古屋宝生会定式能(参加者261人) ・よし乃会 近松の世界 その I (参加者185人) ・平野倮山尺八演奏会(参加者40人) ※コンペティションは実施せず。		

評価軸③-36

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
なごや子どものための巡回劇場			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和55年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は伝統芸能公演を全4回実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		子どもたちにとっては、数少ない伝統芸能に触れる機会であるため、より多くの方にご来場いただけるよう、実演団体等と引き続き協力していく。	
状況を示す写真や資料等			
【令和4年度 伝統芸能公演】 公演団体・公演名：狂言共同社「狂言がやってきた！」 「柿山伏」「附子」など 日時、場所：8月4日(木)1回目85名、2回目67名 名東文化小劇場 8月10日(水)1回目68名、2回目39名 北文化小劇場			
			
※令和4年度の公演の様子			

評価軸③-37

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
名古屋市芸術文化団体活動助成			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和48年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統芸能分野(鑑賞団体への助成実績) 令和4年度 0件、令和3年度 0件、令和2年度 0件、令和元年度 0件、平成30年度 1件、平成29年度 2件 音楽分野(邦楽)助成実績 令和4年度 0件、令和3年度 0件、令和2年度 0件、令和元年度 0件、平成30年度 1件、平成29年度 2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が連続3年までと決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多く、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられる。また、本助成は、令和4年度以降、名古屋版アーツカウンシルの新たな助成制度において課題を踏まえた対応していく予定である。(なお、そのため、令和2年度より新規募集は行っていない。)		
状況を示す写真や資料等			
○補助対象となる団体 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、直近3年間で1回以上名古屋市内での自主文化活動実績がある団体 ○補助対象となる事業 当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの ○補助対象とならない事業 ①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市内外の会場で行う事業など			
補助対象となる事業		補助金の額	
1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合		会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とする。	
2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会		会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とする。	
3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会			
4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会		会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とする。	
5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業)		上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とする。	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・かつての農村地域で伝えられる山車行事について調査事業を実施した。 ・コロナ下での各町の対応を記録した。 ・桜神明社古墳を名古屋市指定文化財に指定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財調査、文化財指定を通じて、文化財を後世に引き継いでいく。	
状況を示す写真や資料等			
【名古屋農村地域の山車行事調査】調査期間 令和4年度～令和6年度 ・戸田祭り(中川区)及び大森天王祭(守山区)について、所蔵資料や祭礼の実施状況の調査を実施。			
			
戸田二之割所蔵からくり人形調査		大森天王祭の実施状況調査	
【桜神明社古墳の市史跡への指定】			
			
市史跡 桜神明社古墳			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況		
文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
計画に記載している内容 ・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
「歴史の里」整備事業については、平成31年4月にガイダンス施設「体感！しだみ古墳群ミュージアム」がオープンした。来館者数の推移は、令和元年度154,591人、令和2年度83,338人、令和3年度112,844人、令和4年度104,064人となっている。今後も引き続き、全体ネットワーク化を図るための案内板、サイン等の整備・維持管理、および古墳等の整備を実施していく。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	古墳整備箇所等について定期点検を実施しているが、劣化し、補修が必要な個所が発生してきており、順次対応を進めている。			
状況を示す写真や資料等				
○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)  ガイダンス施設の外観 ○「歴史の里」 古墳説明サインの補修  補修前  ガイダンス施設 キッズコーナー「こどもこふん」  補修後 ガイダンス施設【体感！しだみ古墳群ミュージアム】 ○延べ床面積 1,560㎡ ○主な居室 展示室・収蔵庫、体験活動室、キッズコーナー「こどもこふん」、カフェレストランなど				

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
・防災・防犯に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、防犯設備や防犯体制についての確認、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財施設・所有者のうち、文化財防火デーに合わせて12施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設・防犯設備の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に(年3回)巡視し、災害等の報告を受けた場合はすぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定文化財建造物の件数が非常に多いため、順次ローテーションを図りながら巡視を継続し、防犯設備の充実を働きかける必要がある。	

状況を示す写真や資料等

文化財防災デー(令和5年1月25・26日)における防災訓練の実施

<大須観音>【放水訓練】



<徳興山建中寺>【放水訓練と近隣の園児の見学】


 <岡家住宅>
 【消火器による初期消火訓練】

【令和4年度 文化財防災デー消防訓練実施施設(計12施設)】

覚王山日泰寺(千種区)、徳興山建中寺(東区)、慈眼山成願寺(北区)、大乃伎神社(西区)、大須観音(中区)、
 八事山興正寺(昭和区)、熱田神宮上知我麻神社(熱田区)、富部神社(南区)、龍泉寺(守山区)、岡家住宅(緑
 区)、高牟神社(名東区)、植田八幡宮(天白区)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) ・「歴史の里」整備事業(公開活用事業) ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成31年4月に「歴史の里」整備事業のガイダンス施設「体感!しだみ古墳群ミュージアム」がオープンした。来館者数の推移は、令和元年度154,591人、令和2年度83,338人、令和3年度112,844人、令和4年度104,064人となっている。山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業について補助件数は令和4年度11件となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、体感!しだみ古墳群ミュージアムをはじめとした志段味古墳群歴史の里へ多くの方に来訪していただけるよう、様々なイベントを実施していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
体感!しだみ古墳群ミュージアム イベント  埴輪はこび体験  お庭に埴輪プロジェクト			
山車の保存修理事業  有識者による山車幕修理の現場視察(修理補助)  山車行事で使用する子ども用の伴天と帯(購入補助)			

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①・②) ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①) ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(②～⑦)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)。名古屋市公式ウェブサイト に埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載(①)。個人住宅建築に伴う発掘調査の実施(②)。 大門町遺跡発掘調査(②)名古屋城跡の首水堀側石垣発掘調査(③)、名古屋城跡の首水堀側石垣発掘調査(④)、名古屋城天守台穴蔵背面試掘 調査(⑤)、二之丸庭園発掘調査(⑥)、瑞穂2号墳発掘調査調査(⑦)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	埋蔵文化財包蔵地における文化財保護法の手続きを、より周知していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 「埋蔵文化財発掘の届出」を忘れていませんか？ 埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地(埋蔵文化財包蔵地)において、地面を掘る工事等を行う場合、工事着手予定日の60日前までに、文化財保護法に基づいて届出をすることが義務付けられています。無届けでの工事着手は違法行為となります。名古屋市内の埋蔵文化財に関するご相談は下記までお願いいたします。 詳細につきましては、名古屋市公式ウェブサイトでご案内しています。 ◎埋蔵文化財の取り扱いについて http://www.city.nagoya.jp/korokai/category/26.27-8.0.0.0.0.0.0.html (埋蔵文化財に関する問い合わせ先) 名古屋市教育委員会文化財保護課 〒460-0008 名古屋市中区三の丸二丁目1番1号(名古屋博物館 本庁舎1階) 受付時間:午前9時～午後5時(土・日・祭日は除く)※休館日:2023.10.10(月) 名古屋城跡・瑞穂2号墳:午前9時～午後5時(土・日・祭日は除く)※休館日:2023.10.10(月) 電話番号:052-832-3209 ファックス番号:052-832-4302 電子メールアドレス: c5008@kaiyaku.city.nagoya.jp   ②個人住宅建築に伴う発掘調査(大門町遺跡2022.7.28)④名古屋城西之丸発掘調査(2022.8.2)   ③名古屋城跡の首水堀側石垣発掘調査 ⑤名古屋城天守台穴蔵背面試掘調査(2022.10.18)   ⑥二之丸庭園発掘調査(2023.2.2) ⑦瑞穂2号墳発掘調査調査(2022.9.20)			

三英傑と三姫 沿道に活気



大須商店街を練り歩く豊臣秀吉隊＝中区で

名古屋まつり閉幕

名古屋市中心部で繰り広げられた「第六十八回名古屋まつり」は十六日、二日間の日程を終えて閉幕した。晴天に恵まれ、久屋大通公園とオアシス21であったステージパフォーマンスや出展ブースは大にぎわい。「郷土英傑行列」終了後、三英傑と三姫が通った大須商店街には歓声と笑顔が広がり、アーケードが活気づいた。主催者によると、三年ぶりとなった今年のまつりは二日間で計約百二十四万八千人が訪れた。

(菊谷隆文、村松秀規)

令和4年10月17日

名古屋テレビ塔 重文指定が告示

文化審議会が国重要文化財(重文)に指定するよう答申していた名古屋テレビ塔(中部電力ミライタワー)について、十二日付の官報に重文指定が告示された。重文指定を祝い、来年一

月三十一日に記念映画祭が開かれる。「ゴジラ対モスラ」など、テレビ塔が登場した作品を専門家の解説を交えて上映する。また、トートバッグやクリアファイルといった記念品を製作するほか、純金の記念メダルを受注販売する見通しという。近く詳細を公表する。

る。

名古屋テレビ塔の大沢和宏社長は「未来永劫、市民に感動を与える名古屋のシンボルでありたい。時代とともに常に進化を続ける新しい重文のあり方を目指す」と語った。

テレビ塔は一九五四(昭和二十九)年、国内初の集約電波塔として完成。高さ一七八・七メートルは、当時日本一を誇った。電波塔の役目を終えた二〇一一年からは、観光タワーとして親しまれている。

令和4年12月13日

評価軸⑥

その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

観光客数の動向について

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりであったが、令和元年度に発生した新型コロナウイルスの影響で令和2年度は大幅に入場者数が減少し、前年度の約1/4となった。しかし、令和4年度には、令和3年度に引き続き回復が見られ、回復基調となっている。

本市全体の観光入込客数については、平成25年度の本丸御殿第一期公開開始からゆるやかに増加していたが、新型コロナウイルスの影響で行事・祭事が大幅に減少したことに伴い、令和2年度には激減した。令和3年度については、若干の回復が見られた。(統計上令和3年までしか公表されていない)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

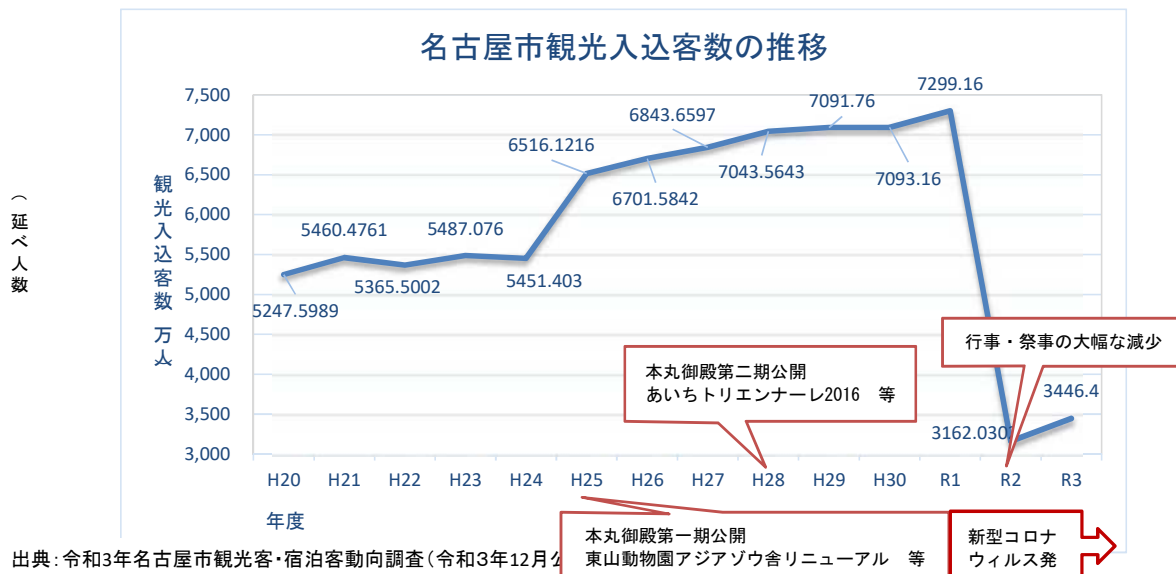
コロナウィルスの影響で観光客が激減しているが、若干の回復が見られている。引き続き多様な観光の形を検討していく。

状況を示す写真や資料等

名古屋城入場者数の推移



名古屋市観光入込客数の推移



出典: 令和3年名古屋市観光客・宿泊客動向調査(令和3年12月)

⇒観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準(平成25年3月改訂)」に基づき
平成29年より調査期間を年度から暦年に変更。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会	
会議等の開催日時: 令和5年5月11日(木)	
(コメントの概要)	
<主な個別事業等について> ・③-6「文化のみち榑木館の管理運営」について、カフェを利用した方の割引き適用やその逆などの入館者数を増やす取り組みをしてはどうか。 ・③-5「文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営」、③-6「文化のみち榑木館の管理運営」について満足度は高いが、自由記述などで意見について対応できるとよい。 ・③-16「栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)」について、「Hisaya-odori park」の満足度などが取れるとよい。 ・③-18「歴史的建造物の登録・認定」について、正式名称がわかるような記載をしてはどうか。 ・集客施設については、集客目標などが将来的にあるとよい。 <評価シート全体について> ・挿入されている図に文字が入っていたら、読めるような大きさ・画質で図を使用するとよい。	
(今後の対応方針)	
・榑木館について、併設のカフェ利用者に入館してもらえるような方策を検討する。 ・文化のみち各施設において利用者の声をしっかりと聴いていく。 ・集客施設については、将来的な集客目標の策定なども検討する。 ・シートの記載や図の載せ方について意見を反映する。	